

4.1
令和3年
(2021年)
No.895

広報ほっとたなべ

<http://www.kyotanabe.jp/>

新型コロナ感染症対策
まずは、新型コロナウイルス感染症対策として、国・府をはじめ、医師会と連携しながら、ワクチン接種の体制づくりを迅速・確実に進め、市民の皆さんに安心いただけるよう取り組みます。

新型コロナ感染症対策

私の1期目の任期も早や半分が過ぎ、令和3年度は折り返し点となります。今年度は、新型コロナウイルスの影響が続くことを想定しながら、昨年度にスタートさせた「第4次総合計画」に基づき、「まちづくりプラン」について、「生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり」をはじめとする5つの重点プロジェクトを中心に、さらに力強く着実に進めています。加えて、市民一人ひとりの居場所や出番を意識しながら、「参画と人のつながり」によるまちづくりを進めることで、「みんなが住み続けたいと思えるまち」を目指します。

しなやかなまちづくり

コロナ禍で外出の機会が減少したことで社会的なつながりが希薄化する中、高齢者・妊娠婦・障がいのある人など、だれもが社会的に孤立しないよう伴走型のきめ細かな支援を行います。また、大きくダメージを受けている中小企業や特産玉露などの生産者に対する回復と消費拡大に向けて取り組みを進めています。

市民の豊かな暮らしと地域経済の回復に向けて、世の中の様相に合わせて臨機応変に対応できる「しなやかさ」を持つとともに、「つながり」の重要性を改めて確認し、市民・大学・事業者・各種団体との連携をさらに深化させることで、皆さんとともに、まちづくりを進めています。

施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。
具体的な事業は、2~5面の予算特集をご覧ください。

5つのキーワードで まちづくり

安全・安心

安全で心安らぐ優しいまち

「国土強靭（きょうじん）化地域計画」に基づき、治水対策をはじめとした総合的かつ計画的な防災・減災対策に取り組むとともに、関係機関と連携した強靭で安全・安心な地域づくりを進めることで「安全で心安らぐ優しいまち」を目指します。

緑

緑に包まれた美しいまち

2月に「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言したことから、さらなる地球温暖化対策に取り組むとともに、里山やまちなかの緑など、市の魅力である自然環境を生かすことで「緑に包まれた美しいまち」を目指します。

健康

いきいき健康で明るいまち

コロナ禍で心身の健康への影響が懸念される中、関係機関と連携し、必要な人に必要な支援が行き届き、誰もが住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けることができる「いきいき健康で明るいまち」を目指します。

発行/京田辺市 配布期間:4月1日~7日

〒610-0393 京都府京田辺市田辺80

☎ 0774-63-1122 / FAX 0774-63-4781

FAXでも問い合わせを受け付けます

■主な内容

2-5 新年度の予算特集

6-7 京たなべde子育て・京田辺同志社連携事業

8-11 【お知らせ】【催し・募集】【健康・福祉】

第1回市議会本会議の初日となる2月19日に、上村市長が令和3年度の「施政方針」を発表しました（写真）。本市の都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」と、政策理念「みんなが住み続けたいと思えるまち」を実現するため、自らが先頭に立ち、職員と一緒に取り組む決意を述べました。

令和3年度 施政方針

大切に 人のつながりを



市民と情報を共有する効果的な広報広聴や、デジタル化による市民サービスの向上を推進するため、広報紙のリニューアルを行うとともに、市公式LINE（ライン）を新たに開始することで、市民一人ひとりのニーズに合わせた情報をリアルタイムに発信します。

また、区・自治会と連携し、新しい自治組織となる「まちづくり協議会」の立ち上げに向けた意識醸成を進めるとともに、南部地域でのコミュニティや文化活動などの拠点機能の確保を進めます。

令和3年度「しなやか 地域創造予算」を編成

令和3年度当初予算 会計別歳出内訳

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	266億1,000万円	250億6,000万円	15億5,000万円	6.2%
特別会計	118億4,970万円	116億7,510万円	1億7,460万円	1.5%
内訳	休日応急診療所特別会計	2,400万円	2,410万円	△10万円
	松井財産区特別会計	1,320万円	880万円	440万円
	国民健康保険特別会計	59億2,570万円	61億3,550万円	△2億980万円
	介護保険特別会計	47億9,400万円	44億5,610万円	3億3,790万円
	後期高齢者医療特別会計	10億9,280万円	10億5,060万円	4,220万円
	水道事業会計	32億590万円	38億7,830万円	△6億7,240万円
	公共下水道事業会計	29億9,760万円	30億5,990万円	△6,230万円
農業集落排水事業会計	9,960万円	1億70万円	△110万円	△1.1%
合計	447億6,280万円	437億7,400万円	9億8,880万円	2.3%

令和3年度一般会計当初予算は、目指す都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、「みんなが住み続けたいと思えるまち」を創造するとともに、ウイズコロナ社会を乗り越え市民とともに明るい未来を築き上げるため、総額266億1千万円となる「しなやか地域創造予算」を編成しました。

また、第4次総合計画「まちづくりプラン」を力強く推進するため、「安全・安心」「緑」「健康」「文化・教育」「田園都市」の5つの柱と基本姿勢

のひとつである「生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり」

に沿った事業を計上しました。

特に、本市の重点プロジェクト

のひとつである「生み育てる喜びが

感じられる子育て支援と人づくり

のひとつの柱と基本姿勢

に沿った事業を計上しました。

また、社会的なつながりによる「しなやかな地域社会づくり」を推進す

るため、新たな自治組織となる「ま

ちづくり協議会」制度導入に向けた

仕組みづくりや南部地域でのコミュニ

ティ拠点機能整備など「地域力創

造事業」を計上しました。

さらに、市税等の減少が見込まれる厳しい財政状況の中、事務事業の

効率化や受益者負担の適正化などの

取組を進めることで持続可能な財政

運営を確立します。

ささらに、市税等の減少が見込まれる厳しい財政状況の中、事務事業の

令和3年度当初予算主な事業 ~基本構想で掲げた5つの柱と基本姿勢に沿ってご紹介~

安全で心安らぐ優しいまち 《安全・安心》

◆避難所運営個別地区マニュアル作成事業 277万円

避難所運営訓練を踏まえ、地域事情に対応した避難所単位でのマニュアルを策定します。

【令和3年度:大住小学校】



【避難所運営訓練の様子】

◆防災施設整備事業 1,189万円

広域的な災害時の救援活動の前線基地、復旧・復興のための資機材や生活物資集配の中継基地など、様々な状況に対応可能な防災機能の整備を行うため、基本計画の策定等を行います。



◆耐震性貯水槽整備事業 1,854万円

地震等で水道が寸断された場合でも消防活動が円滑に実施できるよう、耐震性の防火水槽を整備します。【令和3年度:水取公園】



緑に包まれた美しいまち 《緑》

◆田辺公園野球場 LED化等改修事業 3,260万円

田辺公園野球場の投光器をLED化とともに、照明点灯操作盤の更新、通信環境等を整備し、利用者の利便性向上を図ります。



【田辺公園野球場】

◆地球温暖化対策実行計画策定事業 375万円(2か年 765万円)

平成30年に策定した京田辺市地球温暖化対策実行計画が、令和4年度に中間年を迎えることから、計画の進捗状況や策定後の環境に対する社会情勢、市民ニーズに対応するため、令和3年度からの2か年で計画の見直しを行います。



いきいき健康で明るいまち 《健康》

◆新型コロナウイルス感染症予防接種事業 2億287万円

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けて、府内に設置した「新型コロナワクチン接種対策室」が中心となって、国や府をはじめ、医師会と連携しながら、市民に対してワクチン接種を行います。

◆水辺の散策路環境整備事業 650万円

全10ルートの整備が完了した水辺の散策路について、利用環境の充実に向けてベンチや道しるべなどの整備を進めます。



◆成年後見制度利用促進事業 52万円

認知症の高齢者や障がいのある人などが、権利擁護を必要とする場合に、成年後見人制度の利用などを検討し、必要な支援が受けられる仕組み(中核機関)の設置を進めます。



◆高齢者社会参加促進事業 378万円

(仮称)京田辺市民まつり等で使えるチケット(1,000円分)を70歳以上の希望する高齢者に配布します。



【新田辺駅前イベントの様子】

◆地域福祉計画策定事業 330万円

地域福祉に関する事項を定めた地域福祉計画について、現計画期間が令和3年度に終了することから、その進捗状況や社会情勢の変化等に応じた「第4期京田辺市地域福祉計画」の策定を行います。

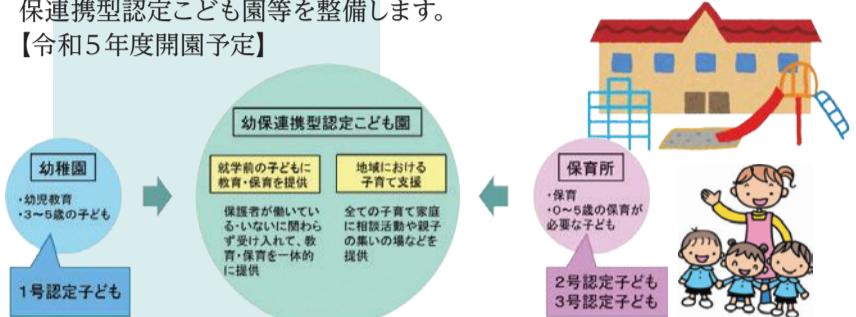
ハード・ソフト両面から子育て支援にアプローチ

子育てしやすく未来を育む文化薫るまち 《文化・教育》

◆(仮称) 大住こども園等整備事業 1億 2,015 万円

平成29年9月に策定した「こどもが輝く京田辺の実現に向けた基本方針」に基づき、京田辺市立大住幼稚園を改築し、北部地域の拠点となる市立保育連携型認定こども園等を整備します。

【令和5年度開園予定】



◆はぐはぐ赤ちゃん応援事業

子どもが生まれた家庭を祝福し健やかな成長を願うとともに、子育てに伴う家庭の負担軽減の一助として、子どもが誕生した家庭に防災時にも役立つベビー用品をお届けします。



550 万円



◆新生児聴覚検査費用助成事業 241 万円

新生児の聴覚障害の早期発見・早期療育により、音声言語発達等への影響を最小限に抑えられるよう、すべての新生児を対象に、新生児聴覚検査に要する費用の一部を助成します。

◆産後ケア事業(短期入所型・通所型) 138 万円

産後ケア事業について、従来の居宅訪問型(アウトリーチ型)に加え、短期入所型(ショートステイ型)、通所型(デイサービス型)を実施します。



◆放課後児童健全育成事業委託 707 万円

今後、児童数の増加が見込まれる三山木小学校区において、幼保連携型認定こども園に留守家庭児童会のクラス運営の一部を委託します。



◆市立幼稚園長寿命化事業 2,830 万円

京田辺市学校施設長寿命化計画(令和3年3月策定)に基づき、薪幼稚園及び三山木幼稚園園舎の長寿命化改修等に向けた設計を行います。



◆田辺小学校長寿命化基本計画策定事業 670 万円

京田辺市学校施設長寿命化計画(令和3年3月策定)に基づき、令和5・6年度に実施予定の田辺小学校の改修計画を策定します。



◆商業施設を活用した子育て支援拠点の整備事業 3,367 万円

「地域子育て支援センター松井山手」を利便性の高いJR松井山手駅周辺エリアの商業施設に移転し、各種子育てに関する講習会等の実施や、子育て世帯や妊娠中の方などが気軽に立ち寄ることができる子育て支援の拠点とします。

【令和4年度開所予定】



【子育て支援交流の様子】

◆(仮称) 京田辺市民まつり開催事業 600 万円

コロナ禍により希薄化する市民の「つながり」を取り戻し、市民協働のもと、本市の魅力を実感し、まちへの愛着と誇りといったアイデンティティを育むため、市民文化祭と産業祭を融合した「(仮称) 京田辺市民まつり」を開催します。



【市民文化祭】



【産業祭】

◆中学校給食施設新築工事等設計業務

3,480 万円(3か年 8,700 万円)

京田辺市中学校給食基本計画に基づき、中学校給食施設新築工事等設計業務を委託し基本設計・実施設計を行います。

【令和6年度給食開始予定】



◆生涯学習推進基本計画策定事業 568 万円

市民が、自己の充実のため「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、楽しく」学ぶことができる生涯学習社会の実現を目指して、新たな「京田辺市生涯学習推進基本計画」を策定します。

◆複合型公共施設整備事業 370 万円

複合型公共施設の整備や運営、維持管理について、民間活力の導入を検討するにあたり、事業参画への意向や要件等の把握を行うため、民間事業者に対してマーケットサウンディング調査を実施します。

◆野外活動センター運営に係る基本方針策定事業 360 万円

施設改修及び運営方法について、利用者ニーズを把握するとともに、民間活力の導入を検討するため、利用者など幅広い層に対してアンケート調査等を実施し、施設のあり方に係る基本方針を策定します。



【野外活動センター(竜王こどもの国)】



社会的な「つながり」・「しなやか」な対応で 明るい未来へ

活力にみちた便利で快適なまち 《田園都市》

◆田辺中央北地区新市街地整備促進事業 2,650万円

田辺中央北地区において、商業や業務、文化、行政サービスなどの多種多様な都市機能が集積した新市街地整備に向けて、組合施行の土地区画整理事業を促進するため、事業計画の作成について支援を行います。



【田辺中央北地区 イメージ図】

◆新田辺駅東地区まちづくり促進事業 1,020万円

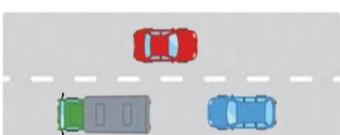
新田辺駅東地区について、市街地開発事業の事業化に向けて地域住民等による合意の形成を支援し、基本計画の検討を行います。



【新田辺駅東地区】

◆北部地域道路調査検討事業 1,500万円

北部地域の道路網のあり方について、調査・研究を行うなど、地域間の道路ネットワークの充実に向けた取り組みを進めます。



◆田辺大通線改修事業(バリアフリー) 5,500万円

近鉄新田辺西側自転車歩行者専用道路について、京田辺市バリアフリー基本構想に基づき改良を行います。



【田辺大通線】

◆大住駅バリアフリー化整備費補助事業 7,200万円

JR大住駅のバリアフリー化整備に係る本工事費及び付帯工事費の一部について補助金を拠出します。

【北側ホーム改札口設置、スロープ拡幅等】



◆京田辺ソリデール事業 546万円

若者(大学生等)と高齢者が同居・交流することで、若者の地域との交流を促進し、愛着を持ってもらう取り組みである「ソリデール事業」を本格実施し、希望者同士のマッチング成立を目指すとともに、家賃や同居に必要な改修費の補助を行います。

◆岡村地区ほ場整備検討事業 300万円

将来、農業振興に必要な基盤整備を促進するため、岡村地区で取組が進められている中、地権者への合意形成を図るため、概略設計図を作成します。



【岡村地区 農地】



【東地区 農地】

◆東地区農地乾田化事業 3,300万円

東地区において、水稻栽培から、えびいも栽培などへの畑作転換を容易にすることで農地の収益性を高めるとともに、担い手への農地の集約を図れるよう、乾田化を計画的に進めます。

◆中小企業成長支援補助事業(拡充) 1,080万円

新型コロナ、東南海地震など、企業の事業継続を危ぶむ問題が頻出する中、災害に強い地域づくりの一環として、市内中小企業のBCP作成について、支援体制と策定に対するインセンティブを設けることで、危機管理能力の向上を図ります。



【JR 大住駅】

まちづくりプラン推進のために 《市民協働・行財政運営》

◆広報紙リニューアル事業 2,204万円

令和3年9月号広報紙より、形態をタブロイド判からA4判にコンパクト化を図ります。また、広報紙の発行回数を月2回から1回にまとめてページ数や記事量を増やし、施策事業やまちの魅力のPR、まちの課題、身近な問題などを特集記事として新たに掲載することで、これまで以上に紙面内容の充実を図ります。



◆地域力創造事業 965万円

区・自治会と連携し、新たな自治組織となるまちづくり協議会制度導入に向けた仕組みづくりを進めます。

また、南部地域のコミュニティの交流拠点として【仮称】南部まちづくりセンターの整備を行います。



◆SNSを活用した情報発信強化事業 102万円

LINEの公式アカウントを運用することで、防災・気象情報やイベント情報を発信するほか、ユーザーが希望する情報のみを配信するシステムを導入して、市民一人ひとりのニーズに合わせた情報配信サービスを開始します。また、LINEのアンケート機能を生かすことで、情報発信を強化とともに、広聴機能の充実を図ります。



◆大学連携ディスカバリーべース推進事業 436万円

同志社大学及び同志社女子大学の教員や学生等による地域をフィールドとした活動をさらに広げ、市民が両大学の有する豊富な知識、技術、人材を身近に触れることが出来る窓口機関として設置した「京田辺市大学連携ディスカバリーべース」を運営し、主に以下の3つの事業を実施します。

- ・「京田辺市、同志社大学・同志社女子大学連携研究事業」の実施
- ・多様な主体との連携マッチング
- ・大学連携事業に係るプロモーション活動の充実



家庭の
Eco
を支援

システムや雨水タンク
設置に補助

市は、地球温暖化対策を進めるため、次のシステムを設置する人に、購入・設置費用の一部を補助します。

申請方法=環境課か市ホームページにある申請書に必要書類を添えて、持参してください

予算額に達した場合は、受け付けを終了します。

申請・問合せ先=環境課（☎ 64-1366）

蓄電池・太陽光発電システムの同時設置

対象=住宅用蓄電池と住宅用太陽光発電システムを同時に設置し、設置および電力の受給開始後1年以内の人

補助額=▼蓄電池システム…1kWhあたり20,000円。上限は12万円▼太陽光発電システム…15,000円+1kWあたり10,000円（上限は40,000円）

しめきり=12月28日（火）

雨水タンクの設置

対象=自らが所有・占有する市内の住宅・事業用などの建物に、新たに雨水タンク（容量80リットル以上で市販のもの）を購入・設置し、購入後1年以内の人

補助額=購入費用の4分の3。上限は45,000円
工事費などの経費は対象外です。

しめきり=令和4年2月28日（月）

■ 産後ケア事業

短期入所型・通所型を拡充

市は、出産後に、助産師などの専門家から産後のケアが受けられる産後ケア事業を拡充します。

対象=市内に在住するおおむね4カ月までの乳児がいる母親

内容=出産後の悩みについての相談、乳房のケアや沐浴（もくよく）・授乳などの育児指導

種類=①短期入所型（利用施設に宿泊）
②通所型（短期入所型との併用に限ります）

利用日数=7日まで

利用料=①9,000円（1泊2日）②4,500円（1日）

所得に応じて減免措置があります。

利用施設=京都田辺中央病院・井出産婦人科・京都山城総合医療センター

申請方法=事前に問い合わせてください

申請・問合せ先=予育て支援課（☎ 64-1377）

無料電話相談

府のきょうと子育てピアサポートセンターでは、不妊などに関する無料電話相談を行っています。

問合せ先 = きょうと子育てピアサポートセンター (☎ 075-692-3444)

◎妊娠出産・不妊ほっとコール
☎ 075-692-3449

開設日 = 毎週月～金曜日（祝日を除く）

開設時間 = 午前 9 時 15 分～午後 4 時（午後 1 時 15 分～2 時を除く）

◎仕事と不妊治療の両立支援コール
☎ 075-692-3467

開設日 = 第 1 金曜日

開設時間 = 午前 9 時 15 分～午後 1 時 15 分

専用フォーム(=2次元コード)から予約すれば下記の日時でも相談に応じます。

開設日 = 毎週月～金曜日（祝日を除く）

開設時間 = 午前 9 時～午後 9 時

京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ 受講生募集

市・教育委員会と同志社大学は、京たなべ・同志社ヒューマンカレッジの受講生を募集します。

日ごろ・テーマ・講師=下表のとおり
希望講座のみの受講もできます。すべての講座を受講した人には修了証を郵送します。

時間=午後1時30分～3時30分
場所=田辺中央体育館
対象=中学生以上の人
定員=300人
多数の場合は、市内に在住する人を優先し、抽選します。
受講料=無料
申込方法=はがきに、「カレッジ受講希望」・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号・託児を希望する場合は子どもの名前と年齢を書いて郵送するか、市教育委員会ホームページ(=2次元コード)から申し込んでください
応募1通につき1人のみ。

しめきり=4月20日(火)(当日消印有効)
申込・問合せ先=社会教育課(〒610-0393〈住所不要〉、☎64-1394)

回	日ごろ	テーマ・講師
1	5月22日(土)	東京2020オリンピック・パラリンピックをめぐるスポーツ政策 同志社大学スポーツ健康科学部教授の横山勝彦さん
2	6月5日(土)	あなたは今なぜ笑ったのかー笑い研究から見えてきたことー 同志社大学文化情報学部教授の阪田真己子さん
3	6月26日(土)	百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録と陵墓問題 同志社大学歴史資料館教授の若林邦彦さん
4	7月10日(土)	貨幣の散歩道: お金の歴史から今を考える 同志社大学経済学部教授の鹿野嘉昭さん

QRコード

京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ

京田辺&同志社連携事業

同志社スポーツを応援!
サポーター募集

市は、同志社大学の競技スポーツを割引料金で観戦できる市民サポーターの令和3年度会員を募集しています。

指定のチケット販売所で会員証を提示すると、割引価格で入場券を購入できます。

対象=市内に在住・通勤・通学する人
対象競技・料金=下表のとおり
割引料金で購入できるのは一般券(大人)のみです。試合日程などは、各競技団体のホームページなどで確認してください。

登録料=無料
申込方法=市民参画課にある申請書を提出してください
申込・問合せ先=市民参画課(☎64-1314)

競技	割引料金(通常)
硬式野球	800円(1,000円)
ラグビー	1,000円(1,500円)
アメリカンフットボール	800円(1,200円)
サッカー	500円(1,000円)

※通常料金は当日販売の価格です。

ま
や
か
ど
TOPICS トピックス

文部科学大臣表彰を受賞

普賢寺小学校 なのはな委員会

なのはな委員になりませんか？

対象＝市内に在住する20歳以上の人
任期＝2年間(報酬あり)
募集人数＝1人
応募書類などで選考します。詳しくは教育委員会ホームページ(kyotanabe.ed.jp)をご覧ください。
しめきり＝4月21日(水)(必着)
応募・問合せ先＝普賢寺小学校 (☎ 65-0053)

なのはな委員会

平成27年5月に発足した普賢寺小学校の学校運営協議会(なのはな委員会)では、地域全体で子どもたちを育む環境づくりを行っています。

地域の人を講師として米作りや習字の学習、地域で引き継がれている伝統・文化を学ぶ体験学習など、地域との継続的な交流を通じて「地域や自分の学校を誇れる子ども」の育成を図っています。この取り組みが認められ、このたび、文部科学大臣表彰を受賞しました。

伝統行事「三月堂竹送り」に参加

地元農家の指導の下、普賢寺幼稚園児と一緒に田植え

3月3日、なのはな委員会の瀧山会長(=写真①)と普賢寺小学校の畠中校長(=写真②)が、山岡教育長に受賞を報告しました。

児童福祉制度の活用を

市は、中学校卒業までの児童がいる家庭やひとり親家庭、心身に障がいのある児童がいる家庭に、手当を支給しています。主な手当は下表のとおりです。詳しくは、問い合わせてください。

問合せ先=子育て支援課 (☎ 64-1376)

4月1日現在

制度	支給額
児童手当	
中学校卒業まで(15歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の児童を養育している人に支給【所得制限あり】	・3歳未満………月額 15,000円 ・3歳以上 小学校修了前………月額 10,000円 (第3子以降)………月額 15,000円 ・中学生………月額 10,000円 ・所得制限限度額を超える人………月額 5,000円
児童扶養手当	
ひとり親家庭など(父母障がいの家庭も対象)で、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童を養育している人に支給【所得制限あり】	・全部支給………月額 43,160円 ・一部支給………月額 10,180円~43,150円 ※2人目は5,100円~10,190円、3人目からは1人につき3,060円~6,110円を加算
京田辺市特別児童福祉手当	ひとり親家庭などで、義務教育修了前(18歳未満の心身障がい児を含む)の児童を養育し、児童とともに本市に1年以上住民登録している人に支給
高校生給付型奨学金	・児童2人までは1人につき………月額 1,800円 ※以降1人増えるごとに………月額 600円
ひとり親家庭などで、市民税非課税世帯に支給 ※生活保護世帯には別途支給します ※母子家庭奨学金との併給はできません	支援金・奨学金・入学支度金があります
交通遭児奨学金	交通事故で親を亡くしたひとり親家庭などで、高校生までの児童を養育している人に支給 ※母子家庭奨学金との併給はできません
自立支援教育訓練給付金	ひとり親家庭の親で、就職を目指して資格を取得するために講座などを受講する人に支給【所得制限あり】
高等職業訓練促進給付金・修了支援給付金	ひとり親家庭の親で、看護師・保育士などの資格を取得するために養成機関に通学する人に支給(上限4年間)【所得制限あり】
高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭の親または子で、高卒認定試験合格のための講座を受講し、修了した人に支給
母子家庭奨学金	母子家庭(父障がいの家庭も対象)で、乳幼児から高校生までの児童を養育している人に支給
特別児童扶養手当	中程度以上の障がいのある20歳未満の児童を養育している人に支給【所得制限あり】 ※請求時には診断書が必要ですが、身体障害者手帳1~3級または療育手帳「A」判定の場合は、その写しをもって診断書を省略できる場合があります
★京田辺市心身障害児童特別手当	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持つ18歳未満の児童を養育し、児童とともに本市に1年以上住民登録している人に支給
京田辺市特定心身障害等児童特別手当	特別児童扶養手当の認定を受けている18歳未満の児童を養育し、児童とともに本市に1年以上住民登録のある人に支給 ※★の対象者は受給できません



市は、「健康」「幸せ」をキーワードに健康づくり事業を行っています。

問合せ先=健康推進課 (☎ 64-1335)

【作り方】
①ナガイモは小さめの乱切りにし、さっとゆでて水気を切る。
②キュウリは乱切りにして塩を振り、水気を切る。
③レモンの皮は黄色い部分をむき取り、みじん切りにする。
④カニ風味かまぼこは手で適当にさいて、すりゴマ・レモン汁・③を加えて混ぜる。
⑤ナガイモ・キュウリを④であえて器に盛る。

材料(2人分)	
ナガイモ	4cm (140g)
キュウリ	1本
カニ風味かまぼこ	2本
レモン(果汁)	大さじ2
レモン(皮)	少量
すりゴマ	大さじ1
塩	少々

ワンポイント
★ナガイモは食感を残すため、ゆですぎないようにしましょう。
★レモンの皮は、すりおろしても良いです。

栄養価(1人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	塩分
88kcal	3.8g	5.6g	40mg	0.4g



「代引き」や海外からの荷物にご用心! シリーズ49

日本脳炎ワクチン初めての人の接種を優先

申請方法: 健康保険証・印鑑(代理人の印鑑)を持参してください。

申請合せ先: 国保医療課 (☎ 64-1374)

SNS=ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス

■記載がないものは、申込不要・無料です。
■新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催しなどを中止・変更する場合があります。

市は令和3年度から、個人所得課税の負担水準について、被保険者に不利益が生じないよう、軽減判定所得の算定基準を左表のとおり改正します。

</div

